



6. 救助隊の装備

救助車のしくみや、救助器具の特長について見てみよう。

救助車には、約120種類の器具がつまれています。

1 クレーン

最大約3tのものを上げることができます。

2 照明装置

夜の災害現場を明るく照らします。(23,000lm)

3 ウインチ

最大約5tのものを引っ張ることができます。

4 はしご

はしごの長さは約9mです。

5 エンジンカッター

6 チェーンソー

金属(5)や木材など(6)を切る時に使います。屋根を切り、穴を開けて建物に充填している煙を出したり、鍵がかかっているドアを切って隊員が進入できるようにします。

7 マット型空気ジャッキ

ゴム製のマットに空気を送りこみ、車などの重いものを持ち上げ、下敷きになった人を助けます。



9

救助のデータ(2024年中(速報値))

市内の出動件数

1,857件
(1日あたり約5件)

救出された人数

132人
(3日に約1人救出)

8

さまざまな
現場で活躍する
救助隊

10



隊員は、災害現場に応じて、救助器具を使いわけながら活動します。

8 救命索発射銃

川の向こう岸にロープを飛ばして、川にとり残された人やおぼれた人を助けます。ロープは約100mまで飛ばすことができます。



9 赤外線カメラ

煙や暗闇の中で逃げ遅れた人を捜す時に使います。

10 大型油圧救助器具

交通事故の時に車のドアなどを広げたり、切る時に使います。

特別高度救助隊

(愛称：スーパーレスキューサッポロ)

地震や列車事故などの多数の負傷者が発生するような大規模災害で中心となって救助活動を行います。札幌市内全域に出動し、要請があれば道内外にも出動します。

国際消防救助隊

海外で大きな地震や風水害が起きたときは、札幌など全国の救助隊員が応援に行きます。



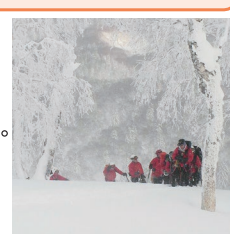
水難救助隊

川や湖でおぼれるなど、水の事故が起きた時に動きます。



山岳救助隊

山での遭難や転落などの事故が起きた時に動きます。



特殊災害救助隊

有毒のガスがもれるなど、特殊な事故が起きた時に動きます。



訓練のようす

大きな地震によって建物の中に閉じ込められた人を、いろいろな器具を使って救出する訓練をしています。



全国の救助隊員が一堂に会して日頃の訓練の成果を披露する大会も行われているんだよ!!

